

韶音

No. 103

〒590-0959

日本キリスト教団 堺川尻教会
堺市堺区大町西三丁目一・十三
☎ 072-1-3331-3531

「その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。」（ヨハネ福音書一章九節）

「イエスはお答えになつた。『本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。』」（ヨハネ福音書九章二節）

二千年前、神の子主イエスは、救い主、世の光として私たちのもとに来てくださいました。クリスマスの出来事です。このクリスマスによって、私たちの世界は大きく変わつたのです。どう変わつたのでしょうか。ヨハネ福音書第九章の物語に聴きたいのです。

主イエスは通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられました。その時弟子たちが主にこう質問したのです。「この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか。」

他人は勝手にそう考えてそれでいいかもしれません。しかし当事者は深刻です。本人は苦しみます。いつたい自分の何が悪くてこんな弱さや病を背負つていかなければならぬのかと思います。両親も悩みます。周りの人の目に苦しめ

クリスマスの光

ヨハネ福音書一章九節、九章二節

塙本一正牧師

恐らく弟子たちは、とつさに、反射的にこう質問したのだと思ひます。生まれつき目が見えない、人に会つた時、誰もがふと考へてしまふことは、なぜこんなことになつたのか、誰のせいいか、ということなのではないでしょうか。本

られながら、どんな罪が自分にあつたのかと問ひ続けます。これほど苦しいことはありません。しかし現実にこういう考え方があるのではあります。ここから神が世を覆つてゐるのではないでしょう。「誰のせいでこうなつたのか」かし現実にこういう考え方があるの世界を覆つてゐるために、多くの世界を覆つてゐるために、多く人が苦しんでいるのです。

しかしこの世界に、神の子主イエスが、救い主、世の光として来てくださつたのです。そのことに

私は今は自らを省みたいのです。

「なぜこうなつたのか」「誰のせい

人の前世の因縁か、親が悪いのか、先祖の罪か…。弟子たちも、生まれつき目の不自由な人を見て、反射的に、いつたい誰のせいでこうなつたのか、と考えたのです。

他人は勝手にそう考えてそれでいいかもしれません。しかし当事者は深刻です。本人は苦しみます。

神の業がこの人に現れるのだ、

と主は言わされました。私たちは

「その光はまことの光で、世に来てすべての人を照らすのであ

る。」どんなに現実が困難でも、眞暗闇ではありません。主イエスの光が照らしています。主がそこから御業を始めてくださるのです。